

ストール山頂からの雄大な景色。この尾根伝いに遊びコバリのランディングへ。さらに距離を伸ばしてコバラのランディングへ向かうこともできる。



ヴァリッチ兄弟やプリモズ・ポドブニクを育てた国、ヨーロッパの陽のあたる側の国スロベニアは、西側ヨーロッパの人々も注目する雄大な大自然と、優しい大空の宝庫。近年気になっている人も急増しているだろう。この国のエリアを、ゲインインターナショナルの佐藤哲也氏がレポートしてくれた！

Welcome!

スロベニアではヴァリッチ兄弟にも会えることも!  
(Photo:Kaoru Ogisawa)

ヴァリッチ兄弟の育った国は  
環境に恵まれたフライト天国!

# スロベニア

Report: Tez Sato (Photo: 特記以外)



6～9月にシーズンを迎えるスロベニアはスクールのツアーエリアとしても人気。(Photo:Kaoru Ogisawa)





スロベニアの雄々しい山々。  
(Photo: Michel Ferrer)



川の色は白く青みがかったエメラルド色。カヤックの聖地としても知られる。(Photo: Michel Ferrer)



大自然のアクティビティを求めてヨーロッパからも続々人が訪れる。(Photo: Kaoru Ogisawa)

に動き出して11時頃に初めてテイクオフとゆっくり。遅くなれば夜7時過ぎまで飛んでいることもあり、観光や休息を十分に取った後からでもフライトを楽しむことができる。上級者には

## ヴァリッチ兄弟を育てた 険しく優しい空

スイス、フランス、チェコ、ドイツ等、世界の強豪ひしめくヨーロッパのパラグライダー競技会において、今や語ることを忘れてはならないスロベニア。昨年までマックパラを駆りワールドカップやクロスカントリーで大暴れしたアルジャス(現ジングライダーズ)とウルバン(現ニビューク)のヴァリッチ兄弟に07年ワールドカップ茨城大会で優勝をしたプリモズ・ポドブニツク、そして若手筆頭のガスベル・プレブク等、スロベニ

アンヤングチームは次の世界選手権においても優勝候補に挙げられるほど。

そんな彼らを生み、そして世界のトップへと育てたフライト環境は、あまりにも大きく、そして険しくも優しい空と言える。凹凸のある谷を渡り、山から山へと移り飛ぶ西側ヨーロッパの山並みと違い、「巨大に横たわる一つの岩の上を走りまわる」そんなフライト環境だ。ある時は1100mのリッジに支えられ、またある時はその尾根筋と谷のど真ん中から上がる

るサーマルに乗り雲底を渡り歩く。過去にワールドカップを2戦も行った成功させているこの地は、参戦した選手達にとってもお気に入りの場所となったことは間違いない。

また、3月からフライトシーズンを迎え、10月まで他国のビジターパイロットを迎えるコパルド周辺のトップシーズンは6~9月。この期間、太陽は夜の8時過ぎまでエリアを照らし、夜を迎えるのは9時以降。パイロット達は、朝9時半過ぎ

もちろん、中級者や体力のないパイロットまで幅広い層のフライヤーを受け入れてくれるエリアなのだ。

## 大自然が広がる 新しいアウトドア天国！

スロベニア(正式名:スロベニア共和国)は西欧と東欧の真ん中、中欧に位置し、91年に旧ユーゴスラビアから独立した新しい国だ。現在EU(欧州連合)に所属しており、ポーランドでEU加盟国への移動が可能で、歴史的な文化と西側からの新しい空気が吹き込まれ変化を遂げている。

西にイタリア、南と東にクロアチア、北東にハンガリー、北にオーストリアと接し、南西をアドリア海に面し、海と山、そして清流と湖に囲まれた大自然の宝庫。カヤック、山登り、マウンテンバイクにパラグライダー等、アクティビティに飽きることはないロケーションの素晴らしい今最も西側の人々に注目されるホ



スケールの大きなスロベニアのエリア。(Photo: Kaoru Ogisawa)

等極めて西ヨーロッパに近い性格を持つ。国境を越えてイタリアやオーストリアから短い休日にはフライトを楽しむに訪れるパイロットも多く、常に多国籍な顔ぶれでエリアが賑わっている。

さらに、EU内でもギリシャ、ポルトガルに匹敵する国民1人当たりのGDPを誇り、治安の面でも極めて良好。クロスカントリーフライトで見知らぬ土地に降りたとしても、言葉は通じずとも治安におけるアクシデントに見舞われることはほとんどない。パラグライダーが飛ぶような田舎町では、アジア人々に会う機会も少ないが、「ドベルダン(こんにちは)」と挨拶して、パラグライダーで飛んできたことを表現すれば、きつと笑顔が返ってくる国だ。

## イタリアと国境を接する 西スロベニアがメッカ

メインフライトエリアのある西スロベニアは、イタリア(特に北イタリア)、オーストリアといった西ヨーロッパ地域に隣接し、スロベニア語を国語としながらも、文化



青みがかった蛇行する川の眼下に見がらのフライト。(Photo: Kaoru Ogisawa)



# スロベニアの メインエリア

## コバリド Kobarid

コバリドの街上空からは遠くコバラのテイクオフが見える。

バラ山が、コバリドとトルミンを結ぶ東西へと走るソチャ谷に沿ってある。

それぞれのテイクオフからは指定のランディングがあるが、メインランディングはソチャ谷の真ん中に存在し、そこからはストール、クック、そしてコバラまでもが見渡すことができる。それぞれのテイクオフからミニクロカンと称してメインランディングまでフライトすることも可能で、もちろん安全確保のために着地場所の状況さえ良ければアウトサイドランディングすることもできる(アウトサイドの際は、穀物等の被害に要注意し、早々に敷地内から出ること)。

宿をコバリド内にあるドレツニカ村のイエルクイン・フラムに置けば、宿の裏にある教会横のスペースへとランディングし、フライト後に冷たいビールで即乾杯するのも嬉しい。



コバリドの町には戦争ミュージアムなどもある。(Photo: Michel Ferrer)

イタリア国境から数十分に位置するコバリド地区は、スロベニアの空を目指す者には中心となるメインスポット。1100mの草原に被われる大リッジロケーションのストール山、イタリアやアドリア海を臨みながらフライトするクック山、そして日本のフライト環境にも似た優しい山構えのコ

## Stol ストール

「スロベニアに行くならここ」と言うくらいに有名でお勧めしたいエリア。メインテイクオフは車で約1時間かかるが、その広大で聳える山並みはパイロットに優しく、西に数キロ進めばイタリア国境だ。テイクオフは横にキャノピーを3〜4機広げられるほどのスペースだが、一度飛び出せば大パノラマと共に空域は広がる。1100mの草原を駆け上るリッジに沿って移動するだけでも十分に高度を獲得することが可能で、少し沖へとフライトする空域を広げるとサーマルに当たり、無条件に雲底へと運んでくれる。雲底へと上がった後は、まずは機首を西に向け約8km先にあるイタリア国境へとリッジ沿いに進み国境をパースしたところでリターン。その後、ゆっくりとストールの空を散歩しながら東へと進みテイクオフから9km先にあるコバリドのメインランディングへ向かう遊び方がスタンダードなコースとなる。



### イタリア国境まで飛べる！

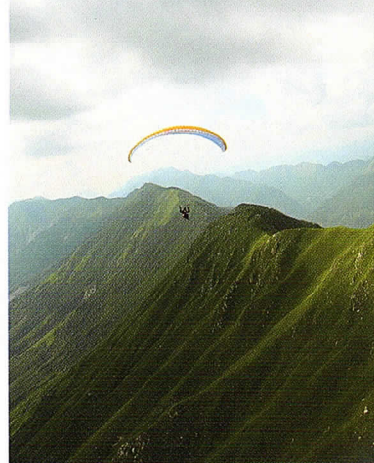
どこまでもなだらかなストールの広大なテイクオフ。(Photo: Kaoru Ogisawa)

しかし、ここでの遊び方はそれに留まらず、ストール山の山並みを東西に十分楽しんだら北へ目を向けると、ひと際高く、そして険しく聳え立つクルン山に繋がる山脈へと移動する。ストール山からは十分な高度を獲得して約1.5kmの谷渡り。その山並みに取り付けば、ストール山よりも切り立つ岩肌を駆け上るサーマルとリッジが2200mを超えるクルン山の頂上へと運んでくれる。たとえそのリッジやサーマルから溢れたとしても足下の谷筋にある村やイエルクイン・フラム裏のランディングに降りることも可能だ。もちろんさらに距離を伸ばし、コバラを指してクロスカントリーもできる。上級者には是非お試し頂きたい。

クロスカントリーが進めば、小さな集落をいくつも越えることになる。



この深い山並みに沿ってゆっくりと北西に進めばすぐにイタリアとの国境へと到達する。



遠くに臨むのはイタリア国境とアドリア海。海を眺めながらのゆったりとしたソアリングも楽しめる。



アドリア海を臨む  
フライト!

ストール山の雲底が低すぎる際のフライトにはクック山。ストール、コバラとはソチャ谷を挟み逆側にあるが、南西風時には遠くイタリアやアドリア海を心行くまで臨みながらフライトを楽しめる。しかし、正規のランディングとしてコバリのランディングが指定されていて、そこまでの距離は少し遠い。特に南西風が強い際は、テイクオフした後ちようど山の裏の北西から南東へと延びるソチャ谷へと移動し、その谷に沿ってミニクロスカントリーをしなければならぬ。もちろん、届かない際は空き地へとランディングすることもできるが谷に沿って川、電線が走っているため、初級者には難しいエリアかもしれない。

Kuk クック

# Tolmin

トルミン

コバラのテイクオフを出ると赤い屋根の集落が広がる。ここからコバリドを目指すパイロットも多い。(Photo: Kaoru Ogisawa)



クロカンの  
拠点エリア

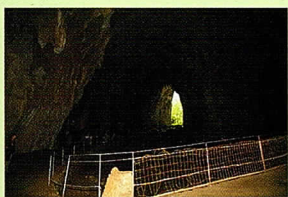
クルン山へは、ここから!

絶対お勧めなのが、鍾乳洞巡り。特にユネスコの世界遺産に指定されているシュコツィアン鍾乳洞は、フラッシュを焚くこと、写真を撮ることさえ許されない全くの自然遺産。中に入れば、そこはインディージョーンズの探検を彷彿とさせる大絶景。数千年、数万年かけて削られた地下河川の洞窟は高さにして最高で約100m。そしてそこに上下へと伸びる鍾乳石はまさに不思議の世界を数kmにわたって作り上げている。

絶対行きたい鍾乳洞!

ポストイナ鍾乳洞はもともと観光地として開かれ、入り口からトロッコに乗って内部へと移動し、神秘の世界へと誘ってくれる。ただし、外気温との差は約20℃。Tシャツ一枚での入場は危険行為だ。外にはスロベニア産の特産品とお土産やが所狭しと立ち並んでいる。お土産やらしいお店を見ることが少ないスロベニアでは、一石二鳥! なお、スロベニア特産の蜂蜜は有名で、山岳部では養蜂と蜂蜜の生産に携わる人々に多数出会うことができる。帰りの荷物が重くならない程度にお土産にする価値はある。

スロベニア観光情報



ユネスコ指定の世界遺産シュコツィアン鍾乳洞。ちょっと寒いけど驚きと感動の中身、厳重に管理されているので、あまりはしゃがないように。



ポストイナは鍾乳洞だけに限らずお土産屋も揃った観光地。洞窟入り口の前では民族舞踊も披露されていた。

# Kobala

コバラのランディングから約15km、トルミン地区の東に位置するコバラは、テイクオフポイントさえストール山ほど高さは無いものの、その山並みに沿って上げれば、北東方向へのクロスカントリーが可能エリアだ。標高の高過ぎるストールに比べ風は穏やかで、西風成分の強過ぎる際にはここでのフライトから始まる。また、大き過ぎる山並みに足慣らしの必要な初級者にはここからのスタートをお薦めできる。

クルン山へと繋がる山並みは、途中まるでヘラでならしたような美しい山肌を眺め、いくつかのピークを抜けて行く。もちろん途中で降りることも可能で、辿り着けばイェルキン・フラムに降りて美味しいビールが待っている。



ストール、クック、そしてコバラからイェルキン・フラムのあるドレツニカ村にクロスカントリーの後、教会の裏に降りればすぐに乾杯。冷たいビールがすぐに出てくる。

04年にチェコ、ポーランド、スロバキア、ハンガリー等と共にEUへ加盟したスロベニアは、その深い歴史の中で常に侵略と他国統括の下におかれてきた。オーストリア、イタリア、ドイツ、ハンガリー等から幾度となく侵略を受け、国名を変え、国籍を変えればこそその結果なのかも知れない。

今や自然と平和の町並みが観光客を心行くまで楽しませてくれる風景が広がっているが、一度山へと立ち入れば第一次世界大戦後に残された戦争や負の遺産を多く目にするだろう。特に僕たちがサーマルの行方

を追いかける深い山並みこそが、激戦区そのままというのだから飛んでも微妙な気分だ。たった数十年、百年前まで人々は足下に美しく輝く大自然の中で国のために殺し合いをしていたのだ。町中には今も戦争の過去を思い出させるオブジェが見られる。コバラの町中にひっそりと立つ戦争ミュージアムでは、その悲惨さと愚かさを目に焼き付けることができる。飛べない日には是非その事実と悲しい歴史を見に行ってみよう。そして旧ユーゴスラビアにあったスロベニアも東欧諸国の改革の波を受け、91年に名実共に独立国家となった。

## 知っておきたい スロベニアの歴史



スロベニアと戦争の歴史を展示した博物館。コバラの町中にひっそりと立っている。



## プリモズ、ヴァリツチ兄弟の 出身エリア

「今日はサンダー・ストームがやってくる」そんな天気予報の朝には、リヤックがお勧め。コバリドから南東方向へ約1時間、1時間半でコバリドやストール山から見下ろすロケーショントとは全く違う風景のエリアとなる。あまりにも高い丘は断崖絶壁を構え、その丘の上は深い森がどこまでも続いている。イタリア国境の町ノバゴリツツアも近く、足下の道なりに続く町の風景は山岳域とは違う。どう畑と小麦色の草地が交互に敷き詰められるイタリアのよう風景だ。

大きな岩にコケのように生える森。ところどころ岩肌を覗かせ、上昇気流を発生させるリヤックの大リッジ帯。

その山並みは多少の起伏を経て違う絶壁へと移り渡り、その繰り返しのクロスカントリー飛行が可能で、もしもの時は足下をクロスカントリー方向へと延びるハイウェイを目指し降りることができる。もちろん空き地のみだ。

また、リヤックはプリモズ・ポドブニツクやヴァリツチ兄弟を輩出したエリアとしても知られ、常に若いパイロット達がクロスカントリーフライトに訪れ、その腕を磨いている風景も見られる。彼らが育った同じ環境でクロスカントリーをするので、つい目線が遠くへと延びる。スロベニアのエリアのもう一つの顔とも言える。



イタリア国境の町ノバゴリツツアに近いリヤック。(Photo: Kaoru Ogisawa)

## Lijak リヤック

週に一度はイタリアへビザを皆で食べに行く。その道のりはたったの20分。最高に美味しかった。



## 送迎から晩酌までお任せの宿 JELKIN HRAM (イェルキン・フラム)

● <http://www.jelkin-hram.com/>  
E-MAIL: jelkin.hram@siol.net

今回スロベニアでお世話になったコバリドのドレツニカ村にある「イェルカママの家」という名の宿。クルン山の足下に置かれる教会の隣にあり、教会横のランディングをわざと利用するパイロットも少なくない。周りには買い物や食事に出かけるような店はなく、朝食、夕食、そして晩酌までここで済ませることができる。パラグライダーのビジターであること知らせれば、宿泊、食事、そして気象情報の提供、テイクオフやランディングまでの送迎、さらには空港までの送り迎えもセットで面倒を見てもらえる。まさに「いたれりつくせり」。



ガイドチームのリーダークラウディア(左)と彼女のポロナ(右)。真ん中は通称ガリバー。日本人がつけたあだ名らしいが、身長2m近くある。

## スロベニアへの アクセス

スロベニアへは、ヨーロッパへの国際空港経由でスロベニアの首都リュブリャナへのタッチダウンが通常ルート。しかし、コバリドからリュブリャナまでは車で約2時間。これはイタリアのベニスからも同じ距離で、EUへの加盟により07年からイタリアとの国境にパスポートコントロールが廃止され、アクセスはリュブリャナ同等だ。行き帰りに一日多くスケジュールをとってベニス観光も楽しめよう。

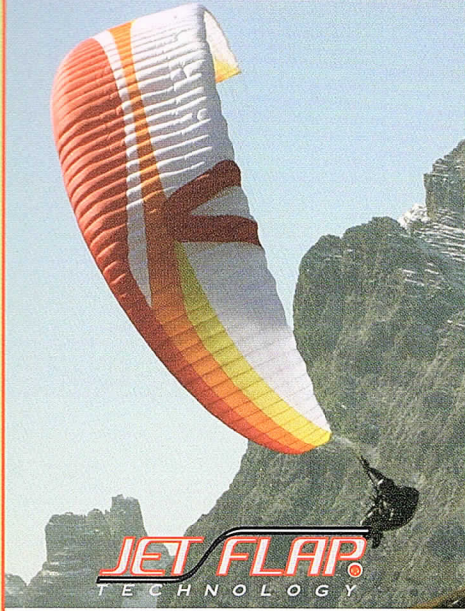
また、空港から独自のオリジナル観光も含めてレンタカーを借りることもできるが、慣れないヨーロッパの道は危険も警察もいっぱい。ついでに言葉もスロベニア語でまともに通じない。空港への移動は宿、食事、空のガイドも含めてイェルキン・フラムにお任せすることをお薦めする。



イェルキンファミリーの言々。真ん中がイェルカママ。右下の水色のTシャツがパオロ。とてもホスピタリティに優れた宿だった。

# CAYENNE

JET FLAP sportster - LTF 2



**JET FLAP**  
TECHNOLOGY

XS:60-80kg

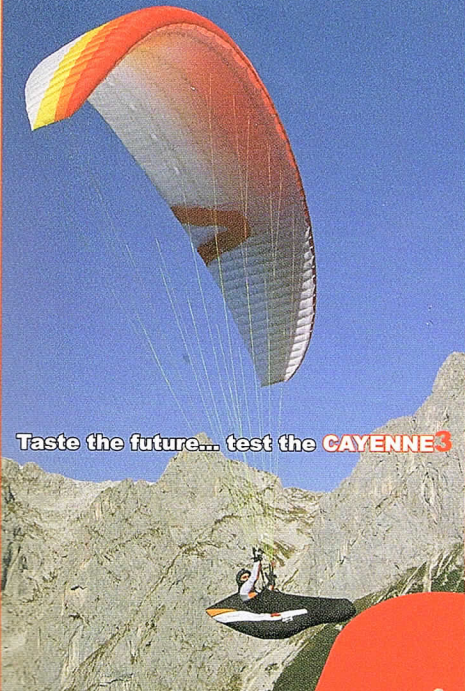
S:75-100kg

M:85-110kg

L:105-130kg

# SKYWALK

PARAGLIDERS



Taste the future... test the **CAYENNE 3**

EMOTIONS 09

**GAIN**  
INTERNATIONAL

GAIN International  
www.gain-int.com  
048-465-7901

SKYWALK  
PARAGLIDERS

## 1. Kobarid (234m)

TO: Stol  
●高度:1400m ●風:南東~南西 ●高度差:1166m ●※PG

TO: Kuk  
●高度:1234m ●風:南東~南西 ●高度差:1000m ●※PG

TO: Mrzli vrh - Matajur  
●高度:1320m ●風:北~北東 ●高度差:1086m ●※PG

## 2. Tolmin (181m)

TO: Kobala  
●高度:1080m ●風:東~北東 ●高度差:899m ●※PG&HG

## 3. Livesce (65m)

TO: Lijak  
●高度:581m ●風:北東~南西 ●高度差:516m ●※PG

## 4. Ob gostiscu Kramar (530m)

TO: Vogar  
●高度:990m ●風:南東~南西 ●高度差:460m ●※PG

## 5. Gorje (750m)

TO: Vrse  
●高度:1298m ●風:東~西 ●高度差:548m ●※PG&HG

## 6. Spodnja Sorica (820m)

TO: Sorica  
●高度:1549m ●風:南東~南西 ●高度差:729m ●※PG

## 7. Idrija (0m)

TO: Crni vrh  
●高度:1150m ●風:北~北東 ●高度差:1150m ●※PG

## 8. Prtovc (900m)

TO: Ratitovec  
●高度:1650m ●風:南東~南西 ●高度差:750m ●※PG

## 9. Rudno (501m)

TO: Drazgoska gora  
●高度:1140m ●風:東~南西 ●高度差:639m ●※PG

## 10. Begunje (560m)

TO: Sveti Peter  
●高度:830m ●風:南東~南 ●高度差:270m ●※PG

TO: Dobrca  
●高度:1478m ●風:南東~南 ●高度差:918m ●※PG&HG

TO: Dobrca - zmajarska  
●高度:1230m ●風:東~南 ●高度差:670m ●※PG&HG

## 11. Senicno (540m)

TO: Gozd  
●高度:930m ●風:東~南西 ●高度差:390m ●※PG&HG

TO: Kriska gora  
●高度:1471m ●風:南東~南西 ●高度差:931m ●※PG

## 12. Laze pri Borovnici (300m)

TO: Zavrh  
●高度:789m ●風:北東~南東 ●高度差:489m ●※PG&HG

## 13. Zabocevo (330m)

TO: Zabocevo  
●高度:710m ●風:東~北西 ●高度差:380m ●※PG&HG

## 14. Zabice (445m)

TO: Goljak  
●高度:1145m ●風:南~南西 ●高度差:700m ●※PG

## TO: Oslica

●高度:1071m ●風:南~西 ●高度差:626m ●※PG

## 15. Iska vas (325m)

TO: Krim  
●高度:1060m ●風:北~東 ●高度差:735m ●※PG

## 16. Kresnice (598m)

TO: Zapodje  
●高度:848m ●風:東~西 ●高度差:250m ●※PG

## 17. Log pri Vipavi (110m)

TO: Kovk  
●高度:860m ●風:南東~西 ●高度差:750m ●※PG&HG

## 18. Zekovec (390m)

TO: Golte - Boskovec  
●高度:1430m ●風:南東~南 ●高度差:1040m ●※PG

TO: Golte - Jugovi travniki  
●高度:1080m ●風:南東~南 ●高度差:690m ●※PG&HG

TO: Golte - Medvedjak  
●高度:1380m ●風:南東~南 ●高度差:990m ●※PG

## 19. Srotnek (400m)

TO: Urslija gora  
●高度:1620m ●風:南~南西 ●高度差:1220m ●※PG

## 20. Volkove Zare (190m)

TO: Rahtel  
●高度:600m ●風:東~西 ●高度差:410m ●※PG

## 21. Gortina (380m)

TO: Pernice  
●高度:875m ●風:南~北西 ●高度差:495m ●※PG

## 22. Ob cesti Celje-Velenje (360m)

TO: Vinska gora  
●高度:640m ●風:南~南西 ●高度差:280m ●※PG

## 23. Gornja vas (305m)

TO: Donacka gora  
●高度:550m ●風:南東~南西 ●高度差:245m ●※PG&HG

## 24. Frankolovo (330m)

TO: Konjiska gora  
●高度:870m ●風:南~南西 ●高度差:540m ●※PG&HG

## 25. Stranice (420m)

TO: Mala gora  
●高度:780m ●風:東 ●高度差:360m ●※PG

## 26. Rimske Toplice (220m)

TO: Kopitnik  
●高度:875m ●風:北~北東 ●高度差:655m ●※PG&HG

## 27. Lasko (230m)

TO: Malic  
●高度:885m ●風:南東~南 ●高度差:655m ●※PG&HG

## 28. Polje, Cucnik (610m)

TO: Lisca  
●高度:910m ●風:南東~南 ●高度差:300m ●※PG&HG

## 29. Jablanica (420m)

TO: Srednji vrh  
●高度:923m ●風:南~西 ●高度差:503m ●※PG

## 30. Straza (181m)

TO: Straski hrib - Peter  
●高度:464m ●風:東~南 ●高度差:283m ●※PG&HG

## 31. Semic (220m)

TO: Smuk  
●高度:545m ●風:北東~南 ●高度差:325m ●※PG&HG

## 32. Loka pri Zusmu (250m)

TO: Zusem  
●高度:625m ●風:北~北東 ●高度差:375m ●※PG

## 33. Radvanje (340m)

TO: Mariborsko Pohorje  
●高度:1030m ●風:北~北東 ●高度差:690m ●※PG

## 34. Grad (425m)

TO: Ambroz Sp. poseka  
●高度:1200m ●風:東~南 ●高度差:775m ●※PG&HG

TO: Ambroz Zg. poseka  
●高度:1320m ●風:南~西 ●高度差:895m ●※PG&HG

TO: Krvavec  
●高度:1680m ●風:東~西 ●高度差:1255m ●※PG

★は今回紹介したエリア。

## スロベニアのフライトエリア

※Slovenia free flight association (<http://www.sffa.org/>) の情報を元に作成。  
※番号はランディングの位置を示す。複数のテイクオフから1つのランディングに降りるケースも多い。

